

17大学・研究機関・支援機関を一堂に展示！

産学連携フェア

【目次】

【B-01】国立大学法人埼玉大学	P 3
【B-02】一般社団法人首都圏活性化協会	P 4
【B-03】東洋大学	P 5
【B-04】東京電機大学	P 6
【B-05】ものづくり大学	P 7
【B-06】信州大学先鋭材料研究所	P 8
【B-07】埼玉県環境科学国際センター	P 9
【B-08】埼玉県立大学	P10
【B-09】早稲田大学環境総合研究センター	P11
【B-41】芝浦工業大学	P12
【B-42】国立大学法人富山大学	P13
【B-43】日本大学	P14
【B-44】埼玉医科大学	P15
【B-45】産学連携支援センター埼玉	P16
【B-46】埼玉県産業技術総合センター	P17
【B-47】中央大学	P18
【B-48】日本工業大学	P19



お宝シーズ発掘ツアー



Aコース(医療・介護・ロボット等)

埼玉大学 東洋大学 東京電機大学 埼玉県立大学 芝浦工業大学 富山大学 埼玉医科大学



Bコース(環境・素材等)

首都圏活性化協会 ものづくり大学 信州大学先鋭材料研究所 埼玉環境科学国際センター
早稲田大学環境総合研究センター 日本大学 埼玉県産業技術総合センター 中央大学 日本工業大学

【巻末】

産学連携支援センター埼玉の紹介

知的財産総合支援センター埼玉の紹介

【大学の紹介】

埼玉大学は昨年11月、創立70周年を迎えました。これからも

「埼玉大学 All in One Campus at 首都圏埼玉～多様性と融合の具現化～」のビジョンのもと、知の府としての役割を果たすとともに、地域に根ざし、人と人をつなぐ懸け橋としての役割を未来につないで参ります。

【展示内容】

■デモ機展示

「高齢者を支援するロボット買い物カート」 理工学研究科 小林貴訓

自律移動技術をショッピングカートに応用したロボット買い物カートを提案・開発しています。

高齢者の歩行サポートや認知機能に働きかけるリハビリと

しても期待され、介護士の負担軽減も見込めます。

- ・障害物を回避しながら目的商品までの案内
- ・売場近くのお買い得商品のお知らせ
- ・歩行サポート
- ・テレビ電話による見守り
- ・自動走行、手動操作の切替
- ・音声操作機能
- ・遠隔操作機能



■大学シーズ紹介

オープンイノベーションセンターでは、企業等における技術的課題の解決、共同研究実施支援、埼玉大学知的財産の紹介・活用に向けた技術移転等を行っております。今回は、大学のシーズについてピックアップしてご紹介します。

産学連携窓口:研究機構 オープンイノベーションセンター 担当:今(こん)

TEL:048-858-3849 FAX:048-858-9419

URL:http://www.saitama-u.ac.jp/coalition/coic/coic_about/

所在地:〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255



(一社) 首都圏産業活性化協会

【産学官金でひと・もの・ことのつながりを推進し、
ビジネス機会と人財が集まる場を形成する】

コマ番号
B-02

【機関の紹介】

埼玉県南西部、東京都多摩地域、神奈川県中央部等を一体とした地域産学官金連携で、「イノベーション創出」「付加価値向上」「ものづくり現場の寄り添い支援」「人材育成・人材確保」を柱にもものづくり中小企業を支援。技術を経営資源とし、テクノロジーとマネジメントの人材育成を行う「技術経営大学」や研究会・交流会、企業間・産学連携マッチングなどを通じて学びと出会いの場をつくっています。

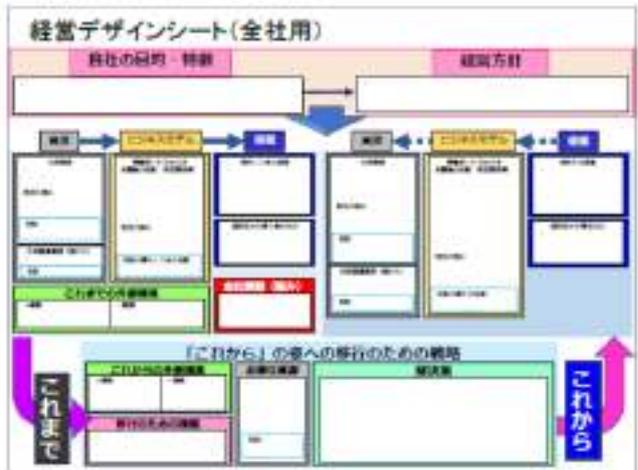
【展示内容】

経営デザインシート作成支援 <知的財産活動支援事業>

これまでの価値を生み出す仕組みを把握し、
ニーズやウオントに訴求できる**これからの価値**を生み出す仕組みを構築する



経営をデザインする



コーディネーターが経営者をヒアリング・ディスカッションし、経営デザインシートを作成支援。
自治体と連携し、セミナーを開催するなど取り組みを地域へ普及展開。

このほか、ものづくり中小企業を支援する4テーマの取り組みを紹介。

イノベーション創出支援



付加価値向上支援

ものづくり現場の寄り添い支援

人材育成

産学連携窓口：一般社団法人首都圏産業活性化協会
 担当：シニア産学官連携コーディネーター 八木(やぎ)
 TEL: 042-631-1140 FAX: 042-631-1124
 URL: <http://www.tamaweb.or.jp>
 所在地：〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1 八王子スクエアビル11階



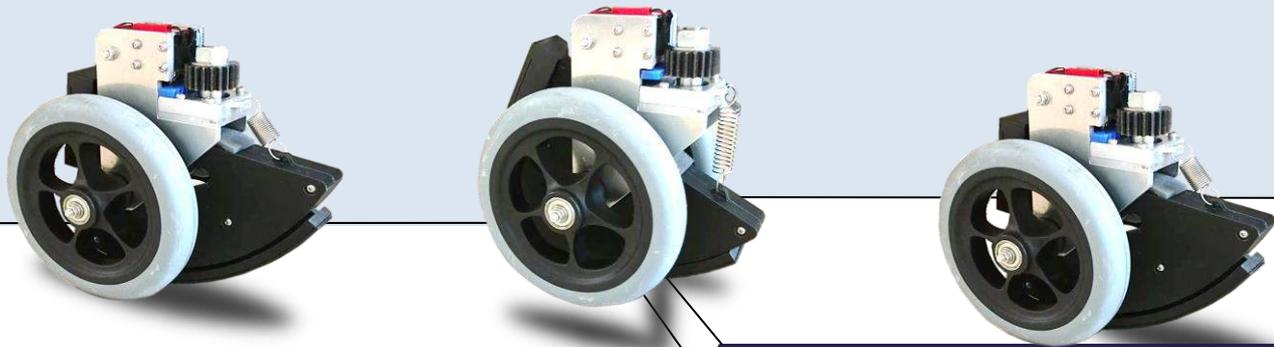
【大学の紹介】

「産官学連携推進センター」や「工業技術研究所」といった組織を窓口として、様々な分野の技術相談等に対応し、受託・共同研究や受託実験、人材育成等色々な形での産官学連携活動を強化すべく取り組んでおりますので、まずはお気軽に現在お持ちの課題やお探しの技術シーズ等についてご相談ください。

【展示内容】

手動車いす用 段差乗り越え補助キャスター

“ちょっとした段差”を正面からも斜めからも楽に乗り越える



手動車いすの
斜めからの段差乗り越えも補助する

スムーズで ラクラク な段差乗り越えを補助

段差乗り越え補助キャスター

●● 段差乗り越え補助キャスターでスムーズな移動を実現 ●●

力を最大80%削減

斜め乗り越えも補助

約75mmの段差乗り越え

シンプルメカニズム

簡単取付け

車いすの段差乗り越え問題

30mm程度の段差でも乗り越えが難しい



車いすの前輪部分のスペースは狭く、小径のタイヤしか使えない。そのため、少しの段差でさえ段差乗り越えが難しい。

斜めからの乗り越えはさらに難しい

段差を斜めから乗り越える時に、キャスタが首ふりを起こす。これにより手の駆動力が有効に作用せず(一部が無駄になる)、大きな力を必要とし、乗り越えが困難になる。



これらの問題を一挙に解決！！

産学連携窓口: 研究推進部 産官学連携推進課 (工業技術研究所担当)

産官学連携コーディネーター 野口 昌宏(のぐち まさひろ)

TEL: 048-239-1605 FAX: 049-232-0981

URL: <http://www.toyo.ac.jp/research/labo-center/riit/>

所在地: 〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100

【変化と調和を自己のものとし新しい100年を皆で磨こう】

【大学の紹介】

「D concept」とは、本学の建学の精神である実学尊重を旨として

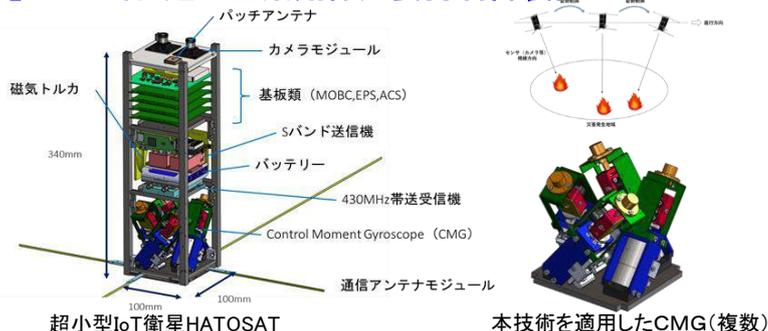
東京電機大学 (TDU) 夢の実現に向かって (Dream)
精力的に (Dynamic) 世の中の信頼 (Dependable)

を、継続的に得るための活動を表現したものです。

D concept
by TDU

【展示内容】

【サイズ名:超小型飛翔体用姿勢制御装置 Control Moment Gyro (CMG)】



従来にない機構

この技術では、CMGの課題であった特異点による姿勢の乱れに対して、姿勢制御精度を補償する機能を追加しています。

この技術は、超小型IoT衛星HATOSATへの搭載を計画しています。

適用可能な製品の例

ドローン、小型飛翔体、人工衛星、宇宙機さらには、地上用や水中用のロボット、移動体など、姿勢制御が必要な機器全般に適用できます。

【サイズ名:段差克服変形車輪】



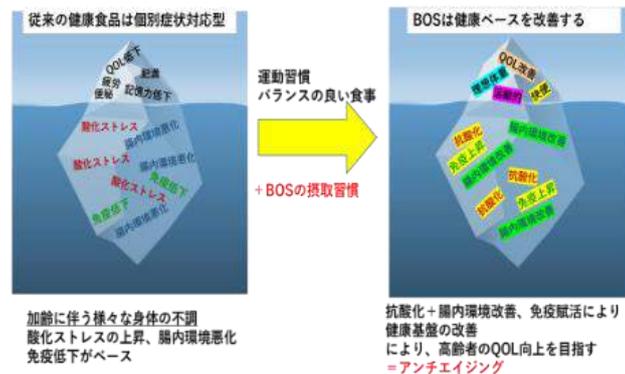
従来技術より優れている点

- 従来移動デバイスである車輪型、クローラ型、足型と比べ、提案する変形車輪は車輪をベースにし、可変ハブ機構を有する。
- 平面走行の高速性、平面走行の安定性の向上
- 可変ハブによって実現される利点は：
 - 平面と段差、不整地間の高効率移動
 - 段差、不整地走行の高速移動
 - 段差、不整地走行の安定移動
- ※高効率で多様な地形に対応し、高速で安定で走行できる。

企業への期待

- 技術面の支援：
 - 回転カム機構の再設計。特に異なる荷重に対応する最適のカム形状。
 - 伸縮機構及び材料の選択。伸縮機構の使用寿命を増加する。
 - 駆動系上限の増加。特に高荷重状況の駆動系設計。
- 商品化に向けた支援：
 - 外観の再設計、商品レベルのアレンジ、商品販売の宣伝及び運営
- 後期開発の支援：
 - 商品マップ化、系統化する。異なる状況に対応できる商品系。
 - 新たな機能の発見。段差克服に拘らず、新用途を発見する。

【サイズ名:「竹バイオリファイナリ」竹から抽出された免疫賦活組成物】



概要

東京電機大椎葉教授らは世界で初めて、竹から特別な薬品や溶媒を用いることなくソフトな方法で、肌の老化防止や酸化防止効果をもつ成分、脂質改善や免疫賦活化活性を持つ成分などを抽出する画期的な方法を開発した。さらに抽出した残渣は機能性飼料としての利用技術を開発し、竹を総合利用する技術を確立した。製品化、市場導入の課題がある。

マッチング先

化粧品原料・化粧品製造会社、
健康食品会社、ペットフード、
動物薬・医薬品事業会社

産学連携窓口: 研究推進社会連携センター 産官学交流センター<承認TLO>

産学連携コーディネーター 担当: 許斐(このみ)

TEL: 03-5284-5225 FAX: 03-5284-5242

URL: <https://www.dendai.ac.jp//crc/tlo> E-mail: crc@dendai.ac.jp



ものづくり大学

【テクノロジストを養成する大学】

コマ番号
B-05

【大学の紹介】

本学は、技能と科学・技術・経済・芸術・環境などを踏まえたものづくりを中心に、優れた知識と見識を備え、高度な技術と技術及び豊かな社会性と創造性、さらに高い倫理性を身に付けた技能技術者(テクノロジスト)を育成し、社会ひいては世界の発展に貢献することを目指しています。

【展示内容】

【シーズ名：流動床インターフェース】

流動床インターフェースとは、液体のようにふるまう砂を用いたインタラクションシステムのことです。砂を入れた容器の底面から吸気を上向きに送ると、水のような流動性を示します。こうした流動化した砂を用いて様々な分野において、新しいインタラクションシステムを研究しています。テレビやYouTubeなどで話題になっていますので、会場で実際に体感してみてください。

【シーズ名：3Dプリンターを活用した人工筋肉】

医療、介護福祉をはじめ多くの分野で人工筋アクチュエータの開発が注目されています。本研究では、空気圧駆動式による人工筋アクチュエータを対象とし、付加製造技術として広く利用されている3Dプリンターを用いて注型技術を応用した製作開発を行いました。それらの成果物を紹介します。

【シーズ名：CFRTPの複合加工研究】

自動車分野では、省エネ目的でCFRTP(Carbon Fiber Reinforced Thermo Plastics)を用いた軽量化が進められています。本研究では、CFRTPのプレプレグシートをスクリープレスで熱成形を行い、他の材料との複合加工を研究しており、家電製品他の分野への活用展開を提案を行うための試作を行いましたので紹介します。

【シーズ名：ファインバブルにおける高性能ノズルの開発とその応用例】

高濃度なファインバブルを発生させることができる出力ノズル(金属系3Dプリンターで製作)を展示しています。そして、このノズルの基本性能と洗浄例としてシリコン半導体ウエハのレジスト材の除去メカニズムを紹介いたします。

【シーズ名：ものづくり現場活性化支援事業】

本学の産学官連携活動推進の中核的な組織である「ものづくり研究情報センター」で行っている、企業等での現場改善活動を実践的に支援する事業を紹介しています。長年、企業において現場改善や体質改善に取り組んできた経験豊富なアドバイザーが、企業からの要請に応じて、改善活動の実践支援を行います。

産学連携窓口：ものづくり研究情報センター

担当：小林(こばやし)

TEL: 048-564-3880 FAX: 048-564-3881

URL: <http://www.iot.ac.jp/mric/>

所在地：〒361-0038 埼玉県行田市前谷333番地

【大学の紹介】

信州大学は、長野県全域にキャンパスが位置し、豊かな自然環境から学ぶフィールド型（自然が教室）の教育が特徴です。大学の地域貢献度調査では毎年上位にランクインし、人材育成や地域企業との共同研究などで評価されています。本出展の先鋭材料研究所は、特色ある材料研究（カーボン等）によって世界に誇る成果を上げてきました。

【展示内容】

1. ナノテクプラットフォーム事業

信州大学は、文科省の行うナノテクノロジープラットフォーム事業に所属しており、ナノ材料の合成に必要な先端機器群を供給するとともに、特性評価、データの解析等も含めた総合的な支援をしています。この取り組みについて紹介します。



Double Cs-TEM

2. アクア・イノベーション拠点（ナノカーボン分離膜の開発）



信州大学アクア・イノベーション拠点では、JSTセンター・オブ・イノベーション（COI）プログラムによって、国連が進める持続可能な開発目標（SDGs）の一つである水処理について、海水淡水化を中心とした高性能で強靱（ロバスト）なナノカーボン分離膜の基礎科学と技術開発を実践しています。この成果内容と構築するアクア・ネクサスカーボン（AxC）-プラットフォームを紹介します。

3. 「ABCコンソーシアム」と「ナノアグリ・フォーカス・コンソーシアム」

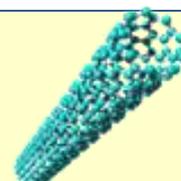


信州大学では、「知」の集積と活用による革新的技術創造促進事業（うち「知」の集積と活用による研究開発モデル事業）と異分野融合発展研究の農林水産省プロジェクト事業を実施しており、未利用・低利用の農林水産物を利用した材料を用いて、新規材料の開発を実施してきました。特にナノセルロースとの複合材料（ゴム、樹脂）で強度としなやかさを併せ持つ新しい材料を開発しており、この成果品を紹介します。

4. その他

必要に応じてその他の展示を行います。

産学連携窓口：信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 担当：藤重（ふじしげ）
TEL：026-269-5777 FAX：026-269-5667
URL：<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/icst/>
所在地：〒380-8553 長野市若里4-17-1



【機関の紹介】

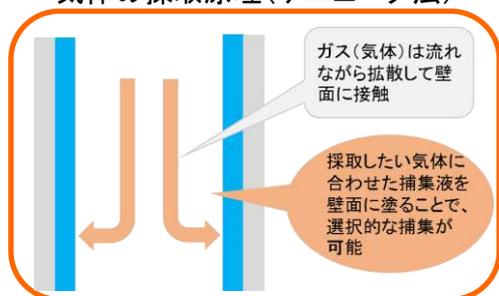
埼玉県環境科学国際センター(CESS)は、埼玉県が直面している環境問題に総合的かつ多面的に取り組む環境科学の中核機関です。CESSでは、「環境科学の共有」を基本理念とし、環境学習、試験研究、国際貢献、情報発信の4つの機能を有しています。

【展示内容】

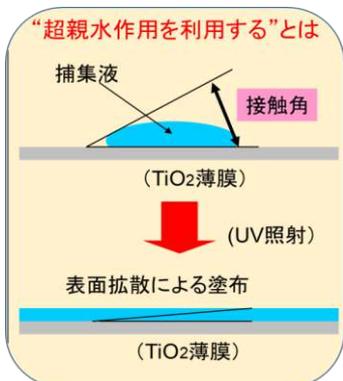
超親水作用を応用した大気ガス成分連続採取装置の開発

- ・大気中のガス状成分を簡便かつ連続的に採取することができ、分析機器メーカーの新たな計測装置の開発に繋がります。
- ・低コストでシステム化できれば、大気観測研究に活用できます。紫外線照射や捕集液塗布などをシステム化することで、自動化が可能となります。
- ・CESS開発のオリジナル技術(特許第5200303号)です。
- ・この原理を応用することで、大気計測以外への活用も期待できます。

気体の採取原理(デニューダ法)



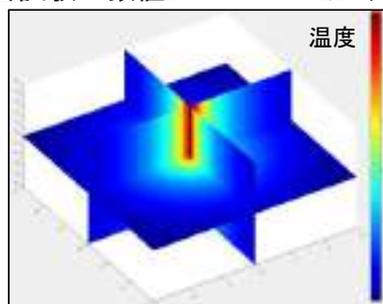
試作装置の外観



地中熱利用システムのための新型熱応答試験装置の開発

- ・地中熱エネルギーの普及が期待される中、埼玉県では、地質条件等から地中熱の利用可能性を評価し、ポテンシャルマップを作成しました。
- ・県内の複数地点で地中熱と空気熱のエアコンの効率を比較する実証試験を進めています。
- ・地中熱システムを設置する場合、熱応答試験が有効ですが、従来法では時間や労力がかかります。
- ・測定時間の短縮や省力化を目指し、新型の熱応答試験方法の開発を進めています。

熱応答試験の数値シミュレーション(イメージ)



研究シーズ集第2版

これまでの研究成果や、蓄積・保有している環境関連技術・情報などを冊子としてまとめた「研究シーズ集 第2版」を発行しました。環境保全技術のヒントとしてぜひご活用ください。



産学連携窓口: 埼玉県環境科学国際センター 研究企画室

TEL: 0480-73-8365 FAX: 0480-70-2031

URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/cess/index.html>

所在地: 〒347-0115 埼玉県加須市上種足914



【大学の紹介】

本学は、陶冶、進取、創発を基本理念として、保健医療福祉に関する教育・研究の中核となって地域社会に貢献します。

【展示内容】

【女性の各年代における身体機能の運動学的解析と健康支援】

保健医療福祉学部 理学療法学科・助教 須永 康代

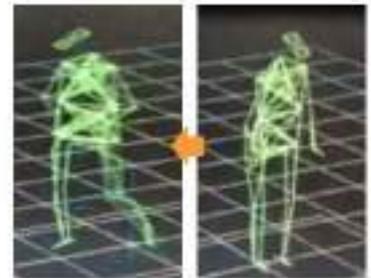
女性の身体機能に大きく影響を及ぼす、各年代の健康課題に対する検討を行っている。

【妊娠・出産期】

腹部の突出による身体重心や動作の変化、骨盤周囲の弛緩性増大に起因する姿勢の不安定性や腰痛・骨盤痛などについて、運動学的解析を行っている。さらに、骨盤帯のサポートベルトの開発など、障害予防のためのアプローチを検討している。



骨盤ベルトの検討



三次元動作解析装置による妊婦の運動学的解析

【更年期・老年期】

加齢に伴い頻度の高まる尿失禁に対し、経腹エコーを用いた骨盤底機能評価と骨盤底筋体操による予防・改善のための介入を行っている。



膀胱および骨盤底の動態評価



健康教室における骨盤底筋体操の指導

産学連携窓口：公立大学法人埼玉県立大学

地域産学連携センター 担当：篠田 裕二(しのだ ゆうじ)

TEL: 048-973-4114 FAX: 048-973-4807

URL: <http://www.spu.ac.jp>

早稲田大学 環境総合研究センター

【持続可能な社会の実現を目指して】

コマ番号
B-09

【大学の紹介】

21世紀の地球規模の環境問題に対応して先導的な研究開発を展開する研究機関として2002年に設立。学内外の諸機関と連携を図りつつ、本庄地方拠点都市地域をはじめとして、民(生活市民)・産(企業市民)が一体となった実践的な教育・研究を展開する場を構築し、持続的な発展が可能な循環型社会の実現に向けて事業を展開しています。

【展示内容】

【マルチベネフィット型小型モビリティ】

- 共通のシャーシで複数の用途(ヒト、モノ等)に利用可能な自動運転車両のプロトタイプ
- 近距離移動、構内物流、ごみ収集等のさまざまな用途に対応した開発を展開中
- スマートシティプロジェクト等と連動したプロジェクトも企画中



産学連携窓口：早稲田大学本庄総合事務センター

本庄プロジェクト推進室 担当：池田(いけだ)

TEL: 0495-24-6379 FAX: 0495-24-6552 e-mail: honjopj@list.waseda.jp

URL: <http://www.waseda.jp/fsci/weri/>

所在地: 〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011



芝浦工業大学

【世界に学び、世界に貢献するグローバル理工学人材の育成】

コマ番号
B-41

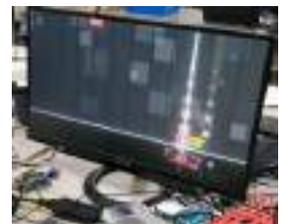
【大学の紹介】

芝浦工業大学は、有元史郎が1927年に前身の東京高等工商学校を設立以来、一貫して実学主義を掲げて堅実に仕事ができる優れた技術者を育成してきました。工学が担うべきフィールドは広がっています。創立以来の理念を引き継ぎながら、時代が求める創造性豊かな人材を育成し、社会に学び社会に貢献する大学として、これからも教育・研究を行っていきます。

【展示内容】

【シーズ名：視線検知装置を用いたゲームインターフェースの開発】

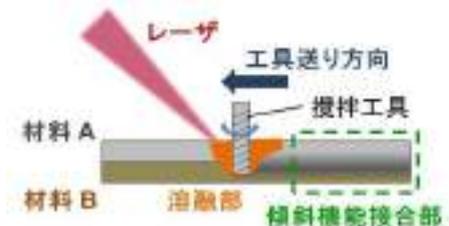
手術後のリハビリテーションについて、継続して行っていくことが困難な場合があります。リハビリテーションを行う際にゲーム的要素を取り入れ、リハビリテーションを継続的に行っていくことを促すための視線検知装置を用いたゲームインターフェースを開発しています。



ディスプレイと視線検知装置

【シーズ名：レーザー加熱攪拌による高安定かつ高強度な微細接合技術の開発】

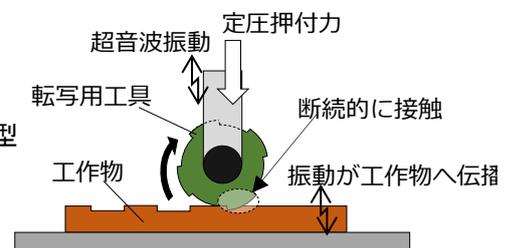
マルチマテリアル化により、『適材適所』で材料を使えるようになります。本研究では、レーザーを用いた精密な局所加熱と機械的な攪拌を複合することで、高安定かつ高強度な微細接合技術を開発しています。攪拌により、微細かつ傾斜組成を有する接合部が得られることが特徴です。



レーザー加熱攪拌プロセスの原理と開発した加工装置

【シーズ名：超音波を複合したデスクトップ微細テクスチャ加工機の開発】

大面積しゅう動面へ高精度な微細テクスチャを加工することで、摺動摩擦や油膜枯渇を抑制できます。本研究では、超音波を援用した新たな塑性加工技術によって、ドライ加工による大面積への微細テクスチャ創成が可能なデスクトップ型テクスチャリングマシンを開発しています。



産学連携窓口：複合領域産学官民連携推進本部
研究推進室 研究企画課 担当：高久(たかく)
TEL: 03-5859-7180 FAX: 03-5859-7181
URL: <https://www.shibaura-it.ac.jp/>



【大学の紹介】

本学は9学部(人文、人間発達科学、経済、理学、工学、医学、薬学、芸術文化、都市デザイン)に、附属病院、和漢医薬学総合研究所を加えた、11部局より成り立っています。全国的にも有数の総合大学として、多士済々の人材を有していることが最大の強みです。

【展示内容】

1. 生物の集団にまなぶ持続可能な群ロボットシステム

工学部 准教授 保田 俊行

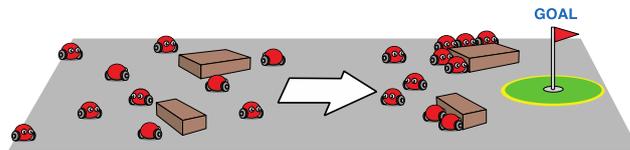
特長) 頑健性：一部ロボットの故障後もシステムとして機能
柔軟性：多少の環境変化にもタスクの変化に対応
拡張性：ロボット台数の変化に対応



持続可能でレジリエントな
自律適応型システム

想定用途例) 不確実な環境における制約のあるロボットによる適応的問題解決

- ・ハザードエリアにおける活動（災害現場での探索など）
- ・大型プラントやインフラの点検・保守
- ・環境保全（珊瑚礁のモニタリングや海上清掃など）
- ・体内などで活動するナノロボット
- ・ロボット以外：人間の集団の動きの予測・誘導など



2. カプサイシン高含有トウガラシ「カハットエース」の紹介

薬学部 薬用植物園 技術専門職員 高尾 泰昌

特徴)トウガラシ「ハバネロ」はカプサイシン含量が2%弱であることに対し、当園で育種、品種登録を行った高カプサイシン含量トウガラシ「カハットエース」は、カプサイシン含量が5~6%と極めて高いことから、香辛料として、また医薬品原料としての「カプサイシン」抽出に非常に好適と考えられます。

想定活用例)・新たな健康食品などへの利用
・天然着色料への利用
・その他「カプサイシン」を利用した商品の開発



産学連携窓口：研究推進機構 学術研究・産学連携本部

担当：橋爪 隆(はしづめ たかし)、高橋 修 (たかはし おさむ)

E-mail: t-sangyo@adm.u-toyama.ac.jp

TEL: 076-445-6936 FAX: 076-445-6397

URL: <https://www.u-toyama.ac.jp/> (富山大学)

<https://sanren.ctg.u-toyama.ac.jp/> (学術研究・産学連携本部)



日本大学産官学連携知財センター

【130年の輝きと共に、未来を創る】

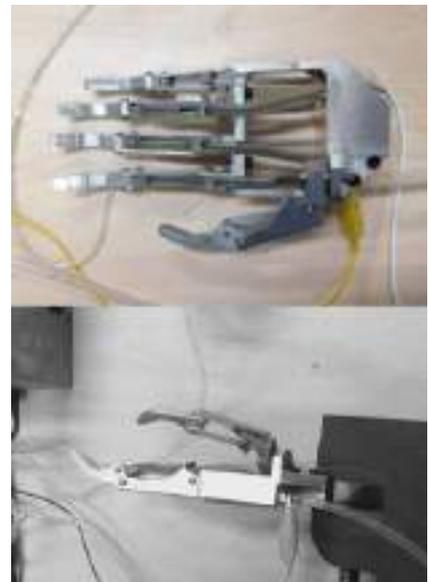
コマ番号
B-43

【大学の紹介】

日本大学は、都内を中心に医学部、理工学部など16学部を擁する総合大学です。卒業生に社長が多いことから、実用化研究や産学連携活動も活発に行っております。2700名の研究者が在籍しており、幅広い技術分野に対応可能です。

【展示内容】

千葉県内に所在する生産工学部のデザイン関連の研究成果を中心に、ロボット、AIなどの研究成果についてポスター等の展示を行います。



産学連携窓口：研究推進部知財課 担当：小野洋一（おのよういち）

TEL：03-5275-8397 FAX：03-5275-8328

URL：<https://www.nubic.jp/>

所在地：〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24



【大学の紹介】

医学部と保健医療学部の2つの学部で構成されています。

教育・研修(知の伝承・普及)、研究(知の創造)、診療、経済価値創造(知の活用-産学官連携)を使命としています。

私立医科大学としては、国内トップクラスの特許ライセンス収入実績を持っています。多彩な研究成果を基に、医薬品・体外診断用医薬品・医療機器・再生医療機器等の開発で企業様との共同研究・委託研究が盛んです。

【展示内容】

1. 本学の産学官連携の取組の紹介
2. ニーズマッチング成果の紹介
 - ・ リハビリAIロボットの開発 デモ



unibo

3. リサーチパークの紹介

産学連携窓口： リサーチアドミニストレーションセンター(RAセンター)

知的財産・産学官連携担当： 豊田浩一(とよだこういち)

TEL: 042-276-2073 FAX:042-276-1964

URL: <http://saitama-med-ip.greater.jp/>

【機関の紹介】

埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)は、埼玉県が運営する公設試験研究機関です。地域の中小企業(主に製造業)が抱える「困りごと」の解決や「やりたいこと」の実現を技術的な側面から、お手伝いしています。

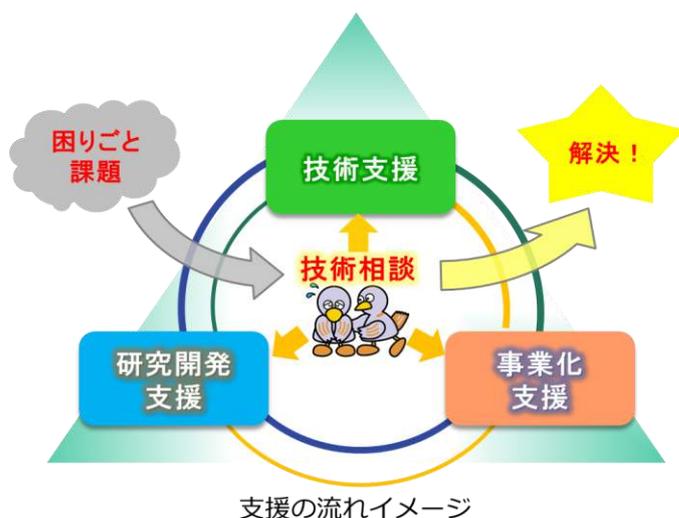
なにかご要望がございましたら、まずはご相談ください！(相談は無料です)

★SAITECの支援内容について

まず**技術相談(無料)**をお受けください。
その上で、適切な支援方法をご提案いたします。

SAITECの基本支援3本柱

- | | |
|--------|---|
| 技術支援 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 企業に代わって分析・測定を実施 ◆ 各種の保有機器を開放 |
| 研究開発支援 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 企業から研究を受託 ◆ 企業との共同研究 |
| 事業化支援 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 企業の製品化を支援 ◆ 各分野の専門家を派遣 ◆ 研究開発の部屋を提供 |



【展示内容】

技術支援メニュー紹介 … 無料技術相談や依頼試験、機器利用などを紹介

機器利用ではSAITEC保有の各種試験機器を使えます(有料)

機器例: インクジェット式カラー3Dプリンタ

色や硬さの表現も可能な3Dプリンタで、製品試作を迅速に行えます。

利用料金 2,860円(1時間あたり)

※樹脂等の消耗品料金が別途必要となります。詳しくは担当まで。



次世代型ものづくり製品開発支援事業 … 製品化まであと一歩の中小企業を支援

支援事例: 「白化合皮ブリーフ」(株式会社ウイズ)

白化合皮により、適度な使用感(エイジング)を表現できるブリーフバック。

エンボス加工による型崩れ防止や使用者にやさしいジッパーにもこだわり。

また、本製品を含めた革靴ブランド「Shion」を立上げ、BtoC販売を強化中。

●支援内容: MD戦略等に関する専門家派遣、新ブランド立上げ支援



※上記の他にも事例品を多数展示いたしますので、ぜひご覧ください！

産学連携窓口: 産業技術総合センター 企画・総務室 企画担当
 TEL: 048-265-1368 FAX: 048-265-1334
 URL: <https://www.pref.saitama.lg.jp/saitec/>
 所在地: 〒333-0844 川口市上青木3-12-18 SKIPシティ内

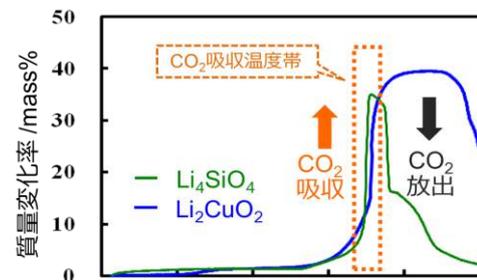
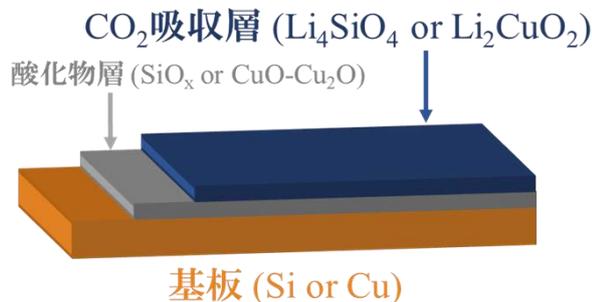
【大学の紹介】

中央大学は、1885年に英吉利法律学校として創立されて以来、「實地應用ノ素ヲ養フ」の建学の精神のもとに、いつの時代にも、社会を支え、未来を拓く人材を育成し、社会に貢献することを使命として参りました。

法科の印象が強い本学ですが、文理8学部を擁する総合大学であり、多様な分野の研究者による学際的な研究力で社会的課題に向き合っております。

【展示内容】

「様々な場所に設置できる、吸収場所と吸収量が作製前に設定可能なCO₂吸収ユニット」



1. 本技術の特徴

本技術は、常温～1,000°Cの領域で温度を自在に制御可能な構造を持ち、簡単に作製することができる、「CO₂吸着材」です。

2. 従来技術との比較

この材料および回収ユニットの特徴は、次の通りです。

- 1) 吸着材表面温度を自在に制御可能
- 2) 被覆材Li₂CuO₂とLi₄SiO₄の量を精密に制御可能
- 3) 回収ユニットは常温下でも設置可能

3. 想定される用途

- 1) 工場や発電所から排出されるCO₂吸収
- 2) 外科手術の麻酔器使用時に人から排出されるCO₂吸収
- 3) 喫煙ルームの空気清浄装置内のCO₂吸収
- 4) 金属-空気電池使用時のCO₂吸収 etc..

産学連携窓口: 中央大学研究支援室 担当: 工藤 謙一(くどう けんいち)

TEL: 03-3817-1674 FAX: 03-3817-1677

URL: https://www.chuo-u.ac.jp/research/industry_ag/clip/

MAIL: ksanren-grp@chuo-u.ac.jp

所在地: 〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27

【大学の紹介】

埼玉県宮代町(最寄り駅:東武動物公園駅)に位置する日本工業大学は、広く理工系の教育・研究を推進するほか、金型人材を育成する金型スクール・中堅中小企業の人材育成をする社会人ビジネススクール(MOT)・金融機関職員へ「ものづくり」の勘所を伝える金融人材教育など、社会に様々な働きかけをしています。

【展示内容】

1) 大学の教員の研究を網羅する「教育紹介冊子」をご用意しています。

現地で直接、色々な研究内容に触れ、御社のニーズに合った教員・シーズを確認することができます

2) 豊富な社会人向けの教育プログラムをご紹介します

社会人向けの短期集中型の金型設計人材育成プログラムの「金型スクール」

中堅・中小企業の後継者・幹部候補社員を育成、1年で修士号が取れるビジネススクール (MOT)

他、様々な社会人向け教育プログラムをご紹介します

3) 採用についての質問にお答えします

本学の学生の採用をお考えの企業様に、「最初の一步」の踏み出し方をレクチャーいたします。



お気軽にスタッフにご質問ください

- ① 大学全般の事を詳しく知りたい
- ② 教員の研究テーマやシーズを知りたい
- ③ 社会人向けの人材教育プログラムを知りたい
- ④ 学生の採用方法を知りたい

産学連携窓口:産学連携起業教育センター
担当:筒井(つづい)

TEL:0480-33-7522 FAX:0480-33-7523

URL: <https://www.nit.ac.jp/>

所在地:〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1